

2023年3月29日  
株式会社三菱UFJ銀行

## NTTファイナンス株式会社で「グリーンローン」を成約 ～48社が参加する本邦最大規模のグリーンローン組成～

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一<sup>はんざわ じゅんいち</sup>、以下「当行」）は、NTTファイナンス株式会社（代表取締役社長 伊藤 正三<sup>いとう しょうぞう</sup>、以下「同社」）との間で、NTTグループグリーンファイナンスフレームワークに則った事業資金を資金用途とした「グリーンローン」によるシンジケーション方式のタームローン（以下「本ローン」）契約を締結いたしました。

本ローンの資金用途は、NTTグループグリーンファイナンスフレームワークに基づいて、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされたものです。NTTグループグリーンファイナンスフレームワークは、ESG評価会社である Sustainalytics（サステナリティクス）より、グリーンローン原則への準拠について第三者評価を取得しております。

NTTグループは、2021年9月28日に新たな環境エネルギービジョン「NTT Green Innovation toward 2040」を策定し、2030年度までにNTTグループの温室効果ガス排出量の80%削減（モバイル、データセンターはカーボンニュートラル）、2040年度までにカーボンニュートラルを実現することをめざしています。グリーンプロジェクトのうち、新規または既存のNTTグループによる5G関連投資、FTTH関連投資、IOWN構想の実現に向けた研究開発投資、再生可能エネルギープロジェクト（風力・太陽光）、高効率かつ省電力を実現するデータセンター、グリーンビルディングへの投資を対象に活用される予定です。

### 【本ローンの概要】

契約締結日	2023年3月24日
アレンジャー/エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
ジョイントアレンジャー	株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行
組成金額	1,298億円
資金用途	NTTグループグリーンファイナンスフレームワークに則った事業資金
貸出人	株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャーとする48の協調融資団

【NTT グループ グリーンファイナンスフレームワークの対象プロジェクト】

対象プロジェクト	具体的なプロジェクト
5G関連投資	5G基地局の省電力化に向けた開発と設置/夜間や低トラフィック時間帯等、スリープモードに自動移行することで、省電力可能な基地局の開発と商用基地局への導入
FTTH関連投資	当社の従来の設備と比較し電力利用量の削減に寄与すると見込まれ、リモートワールドの基盤となる光ファイバ網（FTTH）の敷設や運営
IOWN構想の実現に向けた研究	開発端末やコンピュータ等エンドポイント機器内の基盤同士の接続におけるフォトリソナ化/2030年までの実用化をめざして進めている、基板上のチップ間の信号伝送におけるフォトリソナ接続（LSI内の光化）により大幅な電力量削減を見込める「光ディスクアグリゲータッドコンピューティング」アーキテクチャの実用化に向けた研究開発
高効率かつ省電力を実現するデータセンター	PUE（Power Usage Effectiveness）1.5未満の新規及び既存のデータセンターの建設、改修、取得、運営・CO <sub>2</sub> 排出量（t-CO <sub>2</sub> ）グリーンビルディング 各種環境建物認証や評価を取得予定の物件に係る建設、改修、取得
グリーンビルディング	各種環境建物認証や評価を取得予定の物件に係る建設、改修、取得
再生可能エネルギー	NTTグループが取り組む再生可能エネルギープロジェクト（太陽光発電・風力発電等）の建設、改修、取得、運営

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上